



福は内！ 福は内！ 鬼は外！！

雪の中で豆まきしたよ（鴻ノ巣保育園）

こんにちは！
議会です

No.117

はさみ

平成24年2月号

《長崎県波佐見町議会》

- 住民の“安全・安心”の要
防災無線の再整備 2
- 三委員会 行政調査報告 4
- 一般質問
政策を問う 12名が登壇 6~11
- 私もひとこと 「言は心の声なり」 12

“防災行政無線 デジタル化” 整備工事費 3億450万円

12月 定例会

12月13日～16日

平成23年度各会計補正予算及び条例の一部改正・制定などの10議案が上程され、慎重に審議した結果、原案どおり可決しました。

一般会計補正予算（第3号）

4億6650万円を追加し

総額58億9800万円に!!

主な収入（増額分）

町たばこ税	1480万円	総額7950万円
地方交付税	2988万円	総額18億4875万円
国庫支出金	815万円	総額7億7032万円
県支出金	2515万円	総額5億6391万円
繰入金（基金）	8400万円	総額1億5700万円
町債（借入金）	2億9760万円	総額8億20万円

主な支出（追加・増額分）

介護給付費委託料	1153万円
民間保育所委託費	642万円
	（0歳児増により）
インフルエンザワクチン接種委託料	757万円
農村環境改善センター駐車場整備費	200万円
基幹道路改良工事費	1853万円
西ノ原街区宅地造成工事費	880万円
防災無線工事費	3億450万円
陶磁器展示場改修費	50万円
	（藤田コレクション展）
災害復旧工事費	2170万円
	（野々川、鬼木、金屋地区）
償還金	6700万円

特別会計補正予算

国民健康保険事業（第2号）

397万円を追加し
総額18億4156万円に

介護保険事業（第2号）

23万円を追加し
総額9億7699万円に

公共下水道事業（第2号）

103万円を減額し
総額4億1942万円に

上水道事業会計 補正予算（第2号）

収益的収入

187万円を追加し
総額2億7710万円に

収益的支出

319万円を追加し
総額2億5125万円に

条

例

波佐見町庁舎建設基金条例の制定

〔制定理由〕

庁舎の老朽化と耐震化等により、建設の必要性が高くなったことから、建設に要する資金を積み立てるため、地方自治法の規定に基づき、条例を制定するもの。積み立てる額は予算で定められる。

波佐見町工業用水道事業の設置等に関する条例の制定

〔制定理由〕

県・町工業団地に工業用水を供給するため、地方公営企業法の規定に基づき、条例を制定するもの。

給水区域は、折敷瀬、宿、村木郷の一部とし、最大給水料を2,000立方メートルとする。事業事務は水道課で行う。

波佐見町条例の用語等の統一に関する措置条例の制定

〔制定理由〕

町例規集を新システムで運用するにあたり、搭載されている用字、用語、送り仮名等の統一を図るため、条例を制定するもの。

町長及び副町長の給料の特例に関する条例の一部改正

〔改正理由〕

一般職の職員の懲戒処分に伴い、平成24年1月に支給する町長の給料月額から100分の15を減額するため、条例の一部を改正するもの。

第4回臨時会

会期 平成23年11月28日

一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

〔改正理由〕

人事院による国家公務員の給与の改正に関する勧告に準じ、町一般職の職員の給与を減額するため、条例の一部改正をするもの。

主な賛否表

○賛成 ●反対

議決の結果	表決数 賛成/反対	議席番号														
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
第64号 平成23年度波佐見町一般会計補正予算（第3号）	原案可決 15:0	古川千秋	尾上和孝	藤川法男	松田宇子	川田保則	今井泰照	太田一彦	松尾道代	原昭治	松林一夫	福田洋吉	大久保進	武村龍宏	中村與弘	松尾幸光
第65号 平成23年度波佐見町国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）	原案可決 15:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第66号 平成23年度波佐見町介護保険事業特別会計補正予算（第2号）	原案可決 15:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第67号 平成23年度波佐見町公共下水道事業特別会計補正予算（第2号）	原案可決 15:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第68号 平成23年度波佐見町上水道事業会計補正予算（第2号）	原案可決 15:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第70号 波佐見町庁舎建設基金条例	原案可決 15:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第71号 波佐見町工業用水道事業の設置等に関する条例	原案可決 15:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第73号 町長及び副町長の給料の特例に関する条例の一部を改正する条例	原案可決 15:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

委員会 行動する

報告 調査事務 所管

総務文教委員会

東日本大震災後、福島原発の事故が
り自然エネルギーへの転換の声が高まっ
てきている中、「九州・沖縄産業技術オ
ープンデー」に参加し、太陽光発電の調
査研修を去る11月17日・18日に行った。

〔調査内容〕

総合研究所九州センターでは、メーカ
ーの技術開発に貢献することを目的にさ
れ、研究開発を急ピッチで進められてい
た。

屋外には発電システム評価装置が設け
られ、各社の発電量評価や長期信頼性評
価などが実施されていた。

熊本保健科学大学では、屋根に267
2基の太陽光モジュールを設置し、学生
に対して、環境への配慮の重要性を教育
されていた。

〔まとめ〕

今年度、本町庁舎に太陽光発電の整備
計画がある。また、省エネ化や子どもた
ちの環境への関心を高めることなどから、
各学校施設への導入も考えられている。

このようなことから、本町の10年、20
年先を見据え、新エネルギー事業計画を
策定することが重要であると考える。

〔その他の調査〕

○特別職の職員で非常勤の者の報酬及
び費用弁償について

○手数料及び使用料の見直しについて

産業厚生委員会

〔行政調査の目的〕

政策提言や議員の資質の向上と研鑽、また所管
する事務を幅広く掌握するため、去る10月18日と
19日にわたり、熊本県菊池市、合志市、和水町の
行政調査を実施した。

〔菊池市〕

調査事項……定住促進と子育て支援等施策について
主な施策は、太陽光発電など住宅整備支援、すくす
く子宝祝い金、子育てサポート支援、就農支援制度など

〔合志市〕

調査事項……農業振興について
主な施策は、農業振興推進体制の強化、認定農
業者、後継者の育成、振興作物の強化、地力増進
など、所得を上げ、儲かる農業への支援など、ほ
か市民農園貸付制度の実施

〔和水町〕

調査事項……健康増進及び保健事業について
主な施策は、保険税収納対策、医療費の適正化、
寝たきり等老人介護手当の支給、外出支援タクシ
ー利用助成、介護予防筋トレの実施、生活習慣病
「慢性腎臓病」への予防強化、健康推進員の配置、
特定健診受診率の向上（送迎バス運行）など、特
別保育の実施、乳幼児等医療費助成、出生手当支
給、新築住宅の固定資産の減免・支援制度など。

〔まとめ〕

本町では、自治会未加入世帯への広報紙の配布
や子育て支援の充実、町民農園の貸し付け制度、
農産物の販売先の確保、医療費軽減と特定検診の
達成率の向上を図るべきである。

議会広報調査特別委員会

〔行政調査の目的〕

より良い議会広報紙の発行を目指すため、これ
まで全国コンクールで入賞1回、奨励賞3回の受
賞実績を持つ、広島県安芸郡坂町町議会の行政調
査を去る11月21日行った。

〔町の概要〕

坂町は、広島市に隣接し、瀬戸内海に面した面
積15・67平方キロメートル、人口13,586人、
世帯数5,711世帯の商工業を中心に、若者の
定住を促進する町である。

〔議会の概要〕

法定議員定数22人・現員数12人
常任委員会……総務厚生委員会・産業文教委員会
特別委員会……議会広報調査特別委員会・総合計
画調査特別委員会

〔議会広報の概要〕

基本方針……「より住民に親しまれ、わかりやす
い広報紙づくりを目指す」
発行……年4回・A4判2色刷り・平均16P
※行政連絡委員を通じ全世帯配布。特に、若者を目を
通してもらえような広報紙づくりに努めている。

〔まとめ〕

多くの町民に「読みやすく、わかりやすい」広
報紙を目指すには、幅広い題材を取り入れ、早期
発行に努めることが肝要とされ、また広報委員会
の自主性の向上と、議会全体が広報紙作成に対す
る理念を明確にし、意識を向上させることが不可
欠とされる。

議会報告会

ありがとうございました。

～議会と町民皆さんとの懇談会～

11月4日～12月6日

昨年に続き、本年度も「議会と町民皆さんとの懇談会」を実施しました。

皆様の声を直接お聞きすることは、町民の代弁者として、町政に携わっていく我々の糧となり力となります。今回の懇談会でも、各地区の皆様の実情・要望を耳にすることで、議員それぞれが、活かすべき「声」を感じたことと思います。

今回、お世話いただきました郷自治会長さんを始め町民の方々には深く感謝を申し上げます。

議員一同、これからも「町民に開かれた議会」に努めてまいりますので、町民皆様には議会活動に、より一層のご協力をいただきますと共に、ご意見・ご要望などをお聞かせください。

また、懇談会でのご意見については、後日、取りまとめ、自治会長さんを通じてご報告申し上げます。

ありがとうございました。

町議会議長 松添 一道



議員活動

- | | |
|-------|---------------------|
| 11月1日 | 全員協議会 |
| 4日 | 「町議と語る」懇談会（12月6日） |
| 6日 | はさみ炎まつり・めし碗グランプリ表彰式 |
| | 波佐見町少年剣道大会 |
| | 町身障者家族レクリエーション大会 |
| 9日 | 県町村議長会・知事との懇談会及び研修会 |
| 10日 | 東彼3町議員研修（波佐見町） |
| 14日 | 全員協議会・県下女性議員研修会 |
| 17日 | 総務文教委員会行政調査（18日） |
| 21日 | 陶磁器見本市（産業厚生委員） |
| 23日 | 議会広報委員会行政調査（22日） |
| 24日 | 藤田コレクシオンオープニングセレモニー |
| 25日 | 議会運営委員会 |
| 27日 | 産業厚生委員会 |
| 28日 | はさみ林道マラソン大会 |
| 3日 | 議会臨時会・全員協議会 |
| 6日 | 皿山器替まつり（4日） |
| 13日 | 議会運営委員会 |
| 14日 | 議会定例会（16日） |
| 16日 | 議会広報委員会 |
| 22日 | 全員協議会 |
| 26日 | 東彼福祉組合議会定例会 |
| 3日 | 東彼杵道路県議長要望（県庁） |
| 4日 | 波佐見町成人式 |
| 8日 | 仕事始め式 |
| 9日 | 波佐見町出初め式 |
| 10日 | 昭とおもしろ遊び塾 |
| 11日 | 議会広報委員会・東彼商工会新春交流会 |
| 13日 | 議会運営委員会 |
| 15日 | 総務文教委員会・町建設業組合新春懇談会 |
| 16日 | 波佐見一周駅伝大会 |
| 17日 | 全員協議会・議会広報委員会 |
| 23日 | 特別養護老人ホーム「ひさご荘」落成式 |
| 24日 | 議会広報委員会 |
| 29日 | 産業厚生委員会 |
| 30日 | 波佐見町生涯学習のつどい |
| | 県町村議会議長会議・議会広報委員会 |

●独自の避難計画は
●本町の通常の放射線量は

太田 一彦 議員



問 東日本大震災による福島第一原発の放射能事故を受け、玄海原発は本町庁舎より直線距離でわずか42.4キロメートルに位置する。同様の事故が発生したことを想定して、本町独自の避難計画をつくる考えはないか。

町長 24年6月を目標に策定される原発事故を想定した県防災計画の見直し案を参考に、本町防災計画書も見直しをする。

問 仮に玄海原発が放射能漏れを起こした場合、緊急時迅速放射能影響予測システム「スピーディ」の情報を、本町は入手できるのか。

総務課長 今のところシステム化していないので、本町が直接入手することはできない。

問 放射能測定器を購入し、本町の何カ所かで放射線量の通常値を測定しておく必要があると思うがどうか。

町長 購入については、環境保健研究センターの指導を受け、また、周辺自治体とも連携を図りながら検討していく。

問 本町だけでも通常値を測る気はないか。

町長 行政体というのは、連携をきちんとし、いろいろな形で可能な費用対効果も考えて、どの程度までの予防・準備というものがいいのか、十分検討していきたい。



本町よりわずか42.4kmに位置する玄海原発

●働く人の福祉増進・向上に、勤労福祉会館3階はエレベーターを

武村 龍宏 議員



問 林道・作業道を公共事業で整備する施策を。

町長 森林組合にフォワーダという大型機械の導入が予定されている。来年度は国・県の補助事業を活用し、組合と連携を図り、作業道の整備を進めていく。

問 農地の有効利用に取り組む手法は。

町長 所有者に農地の利用状況と意向調査を行い、遊休農地の自己解消が図られない場合、農業委員会は指

導・勧告を行う。改善または所有者不明の場合は、公告し県知事の裁定となる。

問 地域の特性を生かした新築住宅に奨励金を支給するなどして、定住人口増と税収アップに取り組む施策を。

町長 これまでも定住政策の研究を行ってきたが、キヤノン従業員などの動向を見きわめ、単身者、家族居住者などを考慮した定住

対策などの検討をしている。その結果をもって次年度に事業化した。い。

問 公有財産の有効利用を研究・検討した結果は。

町長 現在も全施設の使用料や減免制度などについて見直し、検討を行っている。今後も使用料の適正化を図っていく方針である。

問 勤労福祉会館の持つ趣旨からも、三階建ての建物にエレベーターを設置し、利

便性を向上させ、使用料収入を図る考えは。

町長 可能な限り24年度検討して取り組んでいきたい。

問 公営住宅法の一部改正と、新たな法律の公布による公営住宅整備基準、及び収入基準を見直す考えは。

町長 国からの参酌基準や県・周辺市町の動向を見ながら検討を行う。

●中山間地域農地の
維持・保全策は
●中心拠点の形成と
定住化促進は



古川 千秋 議員

問 鳥獣被害支援策の強化を。

町長 ワイヤーマッシュ柵を基本に対応、また猟友会員の増加対策も講ずる。

農林課長 今後、電気柵も支援策として検討したい。

問 中山間地の振興作物の選定は。

町長 現在推奨している作物は、ネギ、しょうが類であるが、そば、なたね、里芋類も有望視されている。

問 小規模農林道事業などの支援制度の拡充を。

町長 当分は現制度を継続する。

農林課長 機械などへの支援は、今後、十分検討する余地がある。

問 新規就農者の斡旋と支援策の創設は。

町長 次年度始まる国の新規就農総支援事業と併せ、独自の支援策を研究、検討したい。

問 組織の見直しと推進体制の強化は。

町長 効率的な配置と見直しの中で、支障がないよう

万全を尽くす。

問 町の中心拠点と住居地の形成・定住化の促進は。

町長 次年度の総合計画策定の中で見直し、方向性を定めたい。また民間活力を生かし、若者の居住環境、生活基盤整備に努める。

問 やきもの公園、陶芸の館を中心に、旧講堂を含めた交流の場の形成は。

町長 現在残っている建物を生かした面的な魅力を発信し、町歩き交流の場づくりに取り組む。



今後も守り育てなければならない棚田

●下水道分離ます
仕様の改善策は
●魚道の見直して
鮎の遡上を



松田 宇子 議員

問 汚泥処理の負担軽減を図るため仕様の改善策は。

また、EM活性液の処理能力の調査は進んだか。

最近、この汚泥処理をめぐり、高齢者世帯に多額の料金請求などの事案が発生しているが、その認識は。

町長 現行の排水設備基準の変更は考えていない。管理できない場合は一般廃棄物として処分業者に委託する方法や、町広報紙などで周知を図り負担軽減に努める。

EM活性液の活用情報はいろいろあり、今後研究していく。また、営業活動については事実を調査し注意を呼びかけたい。

問 鮎が波佐見の川を遡上することは、「はさみ鮎」のブランド化を促進させ、観光資源としての発展性があると考える。

遡上を促すため、魚道を改善・改良し、将来の有効活性化のため川棚川を「波佐見川」に変更できないか。

町長 県としては、魚道の改善・改良についての具体的な箇所や方法、理由などを示した要望書の提出があれば協議・検討をおこなう考えである。

ただし、名称変更は関係町議会の議決や、同一水系の名称分離など、大変、困難な状況と考える。



魚道の役割は？（西前寺橋）

- 経費削減の影響 自治会運営にも
- 西ノ原土地区画整理事業 中間報告を
- 旧講堂の保存活用には アンケート調査を

松尾 道代 議員



問 各種事業補助金や助成金などは、18年度から3年間、毎年10%の削減が行われ現在に至っている。このため、各自治会の運営にも影響が出始めていると感じるが、対策はどうか。

町長 住民生活に直面する諸問題に対しては、可能な限り対応してきた。今後とも緊急度や重要度を勘案しながら取り組んでいく。

問 西ノ原土地区画整理事業は13年が経過した。これまでおよそ1億円が使われ進捗率は17%、町民の多くは事業内容がわかりにくいと感じている。中間報告として、関係者だけでなく、全町民を対象にした説明会や、資料配布が必要と思うがどうか。

町長 全町民を対象とした説明会は大変困難と考える。周知方法や内容などについて慎重に協議し、対応を検討していきたい。

問 旧講堂の保存活用には多額の費用が見込まれるため、町民への説明が必要。「保存活用委員会」の最終まとめの前に、全町民の考えを聞くためのアンケート調査が必要ではないか。

町長 委員会で協議を重ねているので、改めてのアンケート調査は考えていない。ただし、今後必要に応じて公聴会やシンポジウムなどを開催し、参考とさせていただきます。



報告が望まれる (旧講堂・西ノ原地区)

- 定住対策の促進を
- 万年橋の迂回路対策は

川田 保則 議員



問 定住化対策として安心して子供を産み育て、健やかに成長できる子育て支援住宅は。

町長 定住化対策については今何が必要なのか、現在、研究、検討している。その結果、可能性があるものは次年度に事業化したい。

問 町道西川線の拡幅はできないか。

町長 延長370mで幅員も狭く、歩行者の安全確保や車両の離合もできない。生活道路の確保の観点から

地域の了解も得て、自治会より要望書が出されている。緊急性や費用対効果など十分勘案しながら、財政計画に基づき振興計画の中で検討する。

問 万年橋の架け替えに伴う車両の通行止めが実施されるが迂回路の交通対策は。(※自転車・歩行者は通行できる)

町長 地域住民の念願であった橋の架け替えであり、ある面では犠牲を払らって協力をいただき、県や川棚

警察署・車両所有者などへ協力をお願いしていただくよう要請したいと思っております。

建設課長 当初の計画では、完成5年間のうちに現在の橋の撤去であったが、路線の計画に若干の変更が生じ、そのため阻害率が高くなり、橋を取り壊し、車両通行止めとなった。

今後の対策としては、県とも協議し対応をお願いしている状況である。町としては通行制限など



架け替えが進む万年橋

できないが、速度制限などをお願いしたい。

●農家の後継者対策は
●藤田コレクション
全点の常時展示施設を



福田 洋吉 議員

問 本町の耕作放棄面積は毎年拡大している。要因は農業従事者の高齢化と後継者不足がある。
農業で生計が成り立つような調査研究をし、経済的支援策など示すべきだ。
町長 後継者が農業に魅力を持てるように、本年度から県農林業・農山村活性化計画がスタートした。本町も先導的農業者を選定し、目標所得を600万円以上と設定している。県・町・JAなどで経営

内容を確認し、規模拡大などの補助事業の優遇措置の支援体制を強化する計画である。
問 波佐見川本流には鋼製ゲート式堰・ゴム引き製堰が設置されているが老朽化が進み、改修が迫られている。改修費は億単位と莫大で町の負担も多額となることから基金を創設するべきである。
なお、水害対策として固定堰から可動堰へ改修され

たもので、改修費の一部負担2%を水利権者に求めるのはいかがなものか。町の負担が当然では。
町長 江良山堰本体の故障により取水できないため、国の補助事業で改修することを地元と協議している。一億円近い事業費が予想され、国・県の補助率は92%、町6%、地元2%を見込んでいる。基金については、現在財政的に対応できないの

「藤田コレクション」古陶磁632点全てを常時展示できる施設を考えるべきでは。
教育長 現在、半数の300点を5月31日までの予定で陶芸の館2階に展示している。将来、常時陳列できる資料館または博物館を設け、展示することが必要と考える。

●自転車利用総合計画の
策定できないか
●旧講堂の雨どい改修を
急ぐべきでは



原 昭治 議員

問 自転車利用者や歩行者に、より良い交通環境を目指すために、波佐見町自転車利用総合計画を策定できないか。
町長 第九次波佐見町交通安全計画に網羅されている。今後、波佐見町交通安全会議などにおいて検討する。
問 各学校の安全教育、交通ルールと、利用者の指導は行っているのか。
町長 小中学生については教育委員会を、高校生につ

いては各学校を、一般の方には広報紙などを通じて指導啓発に努める。
問 通学路の専用通行帯と通行道路の整備を検討すべきではないか。
教育長 児童生徒の通学の安全を確保する上で極めて重要であり、可能な限り実現に向けて検討する。
問 旧講堂にて酒造メーカーのCMがテレビで放映されている。きれいな映像で

あるが、実際には大雨などの影響で外壁の腐敗がひどい。雨どいの改修が急務ではないか。
町長 保存活用について研究協議中であり、本格的な改修はその結果を見きわめて実施する計画である。緊急性を要するものについては早急に改修する。



より良い交通環境を

●本町の 高齢者対策は……

今井 泰照 議員



問 本町の独居老人や高齢者世帯数は。

住民福祉課長 ひとり暮らしの方が23年7月現在、345名、高齢者世帯の方が301名、病氣・寝たきりの方が295名である。

問 自治会においては、救護リストの引き継ぎができていないところがある。再度、確認の必要があるのではないか。

町長 平成20年3月に、災害時要救護者マニュアルを

作成した。地域の協力により支援ができるよう、自治会・民生児童委員・消防団・社会福祉協議会に配布している。引き継ぎについては、年度替わりをお願いしている。本年度も3月の自治会長会において、お願いする。

問 現在、独居老人の方などが、非常時に隣家にインターホンで通報するシステムが予算化されているが、利用者はどれくらいか。

住民福祉課長 22年度決算において、18名である。ほかに、ペンダントなどで危険を業者へ通報する方が12名である。

問 ある自治体では、玄関先に赤色灯を設置し、緊急時に通報するシステムが図られている。

本町も検討できないか。

住民福祉課長 本町でもできるものがあれば、取り入れたい。

問 高齢者問題については、地域との「絆」を大切にした対策が必要と考えるが。

町長 自治会や老人会の活動など、「絆」は非常にいい状況だと思う。

今後は、独居老人や高齢者の方々の声を引き出せるように取り組みたい。

●行事は自治会や 婦人会の理解を得よ ●町の歴史・文化を見直せ

藤川 法男 議員



問 中央小学校付近の通学道路や、町道永田線、井石本線など、整備や土地交渉に手詰まり感があり、来年度予算を確保し、早期に完成すべきでは。

町長 事業の必要性など説明し、関係自治会のご協力を得て、状況を見極めて予算化を検討したい。

問 観光事業の推進には、歴史・文化を新しい観光スポットとして活用すべきである。その際は、準備期間を十分とり、自治会や婦人

会などと協議すべきである。

町長 今年の観光事業は、実行委員を中心に企画実施したが、立ち上げ時期の遅れなどもあり、自治会や婦人会との連携が不十分でご迷惑をお掛けした。その反省を踏まえ、早々に次期開催に向けて準備に入った。

問 本町も原マルチノ・陶祖李祐慶が歴史的に存在し、また、中島誠之助先生と「藤田コレクション」のコラボレーションなどで何かを見出せないか。

町長 「藤田コレクション」や、中島誠之助先生のことに対しても、手順を踏んで布石を打っている。今しばらく待つていただきたい。

問 今回の職員の不祥事の対応は、町長を含め行政側の処分は妥当だったのか。

副町長 誠に迷惑をお掛けした。町長は自ら、私と直属の上司の課長が処分を受け、妥当であったと思う。今後も、綱紀粛正に努めていきたい。



行事を支援する“元気な”婦人会

- ドクターヘリ
着陸地の整備を
- 取手付きゴミ袋の対策は
- 町道整備、
地権者との交渉は



中村 與弘 議員

問 ドクターヘリの着地点を各小学校区に、「H」の標示をして整備する必要があると思うが、どうか。

町長 本町での着陸地は、波佐見高校、波佐見中学校、やきもの公園の三ヶ所が指定されている。今後、着陸条件を含め、消防局や救急ヘリ隊など関係機関と協議していきたい。

問 取手付きの、ゴミ袋の普及について、その後の対策は取られたのか。

住民福祉課長 来年度、予算化して二種類（平袋と取手付き袋）を試験的に販売することを関係業者や町民の方へお知らせして、来年度中に販売を開始する予定。

問 年々盛んになる「鬼木柵田祭り」や「中尾の桜陶祭」は、周辺の道路整備が追いついていない。特に、大鬼木～中尾間は自治会からも要望が出されていることから、早急に整備すべきではないか。

建設課長 H22年10月と23年10月に地元自治会から要望があっている。計画を進めるに当たっては、地権者の方と交渉をしたいと思っている。

現段階では、次年度からということの返答は控えた。慎重に対応しながら早急に検討したい。



拡幅工事が望まれる大鬼木～中尾間

- 学生は歩道を
自転車で走れるのか
- 「波佐見ブランド」を
上海市場に売り出せ



尾上 和孝 議員

問 警察庁から、各都道府県警へ普通自転車通行を見直すよう通達されたが、学生は歩道を自転車で走れるのか。

教育長 「車両の通行が多く、自転車が進道を通行すると危険となる場合を除く」との緩和策が設けられている。本町でも、通行できるような警察に要望し、また道路整備の要望もしながら安全確保に努めたい。

問 上海航路の定期便にあわせ、上海市場に波佐見の陶器やお茶、米など、「陶と食」の特産品を、町が率先し、大小メーカー問わず、出品販売できる「波佐見アンテナショップ」を町の予算でつくる考えはないか。

町長 船内販売においては、販売員の配置など出展条件が厳しく対応できなかった。「波佐見アンテナショップ」に関しては、町としては投資はできない。

問 試験運行中の乗り合いタクシーは、利用者が少なく、利便性に問題があると聞く。問題点は把握されているのか。

また、本格的運行開始に向けての改善策は。

町長 無駄のない、効率的な予約制の運行に理解をいただきたい。

今後、乗車アンケートと住民アンケートを行う。その後、分析を行い、改善すべきところは改善し、利便性の高い運行に努めたい。



“陶と食”の特産品

私もひとこと



言は心の声なり

三股郷 林 潤 一郎

ずいぶん前の話ではありませんが、「センスと努力は同じですよ!!」とある人の話にありました。私はその時の会話で「いや、それは違うと思います。センスは生まれ持った素質で、努力をしても、その方達と同じようなことはできないのでは……」と言ったことを今でもはつきりと覚えています。

私は地元の三股郷に帰郷し、家業である鑄込業を「継ごうか継ぐまいか」と曖昧な気持ちのまま、自然の流れに任せるなかで、町の後継者育成講座のろくろ教室に通い、そのうち「もう自分には焼物しかないな」という気持ちに固まりつつありました。

造り始めた頃は、使い手がいかに「使い易く、安心して、気分良く使える物」をどう届けられるか……。只々、ひたすらに蹴ろくろに向かい、自身の息吹を見つけた一心でした。焼き上げては使ってみて、「機能も大事・全体のバランスも大事」という事を繰り返しの作業が教えてくれました。十人十色とあるように、

帰郷する前は、サービスマンに従事しており「物を造る」ということ、「物を販売する」ということは全く無縁なことであつたため、大変長い時間を要しましたが、その間、様々な方からのご指導やアドバイスなどをたくさん賜り、先に述べました言葉もそのような折に頂いたものであります。

三股郷の地域は山手の方でもあり、不便なことも多々ありますが、一途に「焼物」を追い求められる環境は何処にも無い風情を感じさせてくれます。その静かな山あいでも、一心の気持ちで蹴ろくろを回し「急須」という道具を造らせていただいております。

様々な使い用があるということを考えれば、「使い易い物」の急須をたくさんに頭に想い浮かべ、ろくろを回しているイメージを感じるといふこと、それがセンスなんだと自分の中で確信できました。この先もたくさんの失敗もあると思いますが、焼物に巡り合わせてくれた故郷で感じる四季折々の息吹を、「急須」という道具に託し、作陶に精進したいと願っております。陶芸に従事し、たくさんの方々から賜りましたご支援に深く感謝申し上げます。誠にありがとうございます。

議会広報「こんにちは！議会です」116号の中で下記の記事に誤りがございました。訂正しお詫びいたします。

記載ページ	誤	正
3	22年に借りたお金 9億476万円	22年に借りたお金 5億1410万円
	返したお金 7億6136万円	返したお金 9億476万円
7	東彼保険組合負担金	東彼地区保健福祉組合負担金
	県後期高齢者医療広域連合議会定例会	県後期高齢者医療広域連合議会定例会
12	挟の里豊穰太鼓まつり	峡の里豊穰太鼓まつり
	11月13日発行	11月14日発行

平成24年第1回定例会は3月上旬からの予定です 傍聴をおまちしています



編集後記

未曾有の大震災と原発事故発生から、早一年を迎えようとしています。

復旧、復興計画が遅延する中、一日でも早く、以前のような生活が送れるよう切に願っております。

穏やかな新年を迎えた平成24年、慌ただしく一月も過ぎ、最も寒い「如月」の月を迎えましたが、梅花のつぼみも少しずつ膨らみ、春の気配を感じる事ができます。

「議会だより」の編集も、現スタッフになって一年、これからも、親しまれ、より分かり易い広報紙づくりに努めますので、皆様のお声をお聞かせください。よろしく

お願いしま 議 松添 一道

議会広報調査特別委員会

- 委員長 松田 宇子
副委員長 川田 保則
委員 藤川 法男
委員 古尾 千秋
委員 川上 孝男